# グローバルREITオープン

販売用資料 2024年3月29日 (月次改訂)

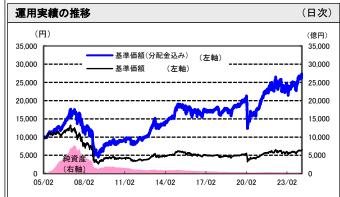


マンスリーレポート

追加型投信/内外/不動産投信

#### 運用実績と基準価額変動の要因分解

2024年3月29日 現在



・上記の基準価額(分配金込み)の推移は、設定日前日を10,000円として、税引き前分配金を分配日 に再投資したものとして計算した分配金込み修正基準価額です。ファンドの騰落率は、分配金を 課税前再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件に

- よって受益者ごとに異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。 基準価額の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額です。 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

基準価額 6,515 円 前月末比 263 円

純資産総額 343.7億円 ●信託設定日:2005年2月21日

●信託期間 :無期限

:年12回。原則、毎月各23日 ●決質日 (同日が休業日の場合は翌営業日)。

#### 騰落率

-7円

区分しております。

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.4%	3.1%	14.8%	21.1%	34.6%	173.4%

・騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に溯った期間としております。

## 分配金(1万口当たり、課税前)の推移 (過去12ヶ月分の分配実績)

設定来累計	9,390 円

2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月
10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円
2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円

基準価額変動の要因分解 直近3ヶ月累計 2024年1月 2024年2月 2024年3月 -51 円 273 円 199 円 基準価額騰落額(分配金込み) -23 円 ート要因 -215 円 -114 円 256 円 -73 円 米国 -127 円 -13 円 97 円 -42 F 豪州 -7円 60 円 78 円 25 円 カナダ -0 円 -3 円 6 円 3 円 為替要因 172 円 98 円 24 円 294 円 15 円 米ドル 122 円 65 円 201 円 <u>豪ドル</u> 4円 1円 4 円 10 円 <del>7</del> 円 8円 0円 ユーロ 15 円

-8 F

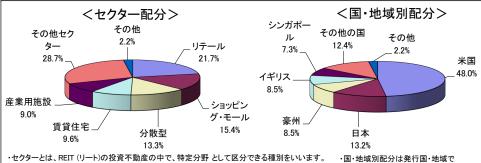
-7 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証する ものではありません

※ファンドの分配金は最新の投資信託説明書(交付目論見書) 記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

- ・左記の要因分解は、委託会社が算出したものであり、 直近 3ヶ月の基準価額騰落額の要因を円未満を四捨 五入して表示しております
- ・要因分解の内訳については、主要な地域・通貨につい て表示しています。

### 信託報酬等 セクター配分及び国・地域別配分



- ・セクターとは、REIT (リート)の投資不動産の中で、特定分野 として区分できる種別をいいます。
- ・リテール:商業・小売施設に投資するリート
- 分散型:2つ以上の物件タイプに投資するリート (出所:S&P社,CBRE社)

-22 F

REIT組入比率	97.8%
配当利回り	5.1%
組入銘柄数	75 銘柄

- ・組入比率は、マザーファンドのREIT組入比率と当 ファンドが保有するマザーファンド比率から算出 しております。
- ・配当利回りは、毎月末算出される各銘柄の配当金等 (実績ベースを基本)をもとに、組入比率を掛けたものを 年率で表示したものです。配当金等は、税金等を控除し ておりません。従って、実際にファンドが受け取ることが できる金額とは異なります。
- (出所:CBRE社)

REIT組入·特性値

#### 組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域名	セクター名	純資産比
1	サイモン・プロパティー・グループ	米国	ショッピング・モール	5.8%
2	リアルティー・インカム	米国	リテール	5.0%
3	センター・グループ	豪州	ショッピング・モール	4.8%
4	ランド・セキュリティーズ・グループ	イギリス	分散型	4.2%
5	日本都市ファンド投資法人	日本	リテール	3.2%
6	KDX不動産投資法人	日本	分散型	3.1%
7	リージェンシー・センターズ優先	米国	リテール	3.0%
8	リンク・リート	香港	リテール	2.6%
9	キャピタランドアセンダス・リート	シンガポール	分散型	2.5%
10	クレピエール	フランス	ショッピング・モール	2.4%
	合	計		36.6%

・純資産比は、マザーファンドに おける純資産比と当ファンドが 保有するマザーファンド比率 から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が 保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかな る内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマ ネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込いただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投 資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆投資信託説明書(交付日論見書)のご請求・お申込

◆設定·運用

# 野村アセットマネジメント

マンスリーレポート

# グローバルREITオープン

販売用資料 2024年3月29日 (月次改訂)

'04/9 '06/9 '08/9 '10/9 '12/9 '14/9 '16/9 '18/9 '20/9 '22/9



追加型投信/内外/不動産投信

#### 主要投資国のリート指数の推移(円ベース)と為替レートの推移 <フランス> <豪州> <米国> 500 400 550 450 350 500 400 450 300 350 400 250 300 350 250 200 300 250 200 150 200 150 100 100 100 50 50 0 . '04/9 '06/9 '08/9 '10/9 '12/9 '14/9 '16/9 '18/9 '20/9 '22/9 . '04/9 '06/9 '08/9 '10/9 '12/9 '14/9 '16/9 '18/9 '20/9 '22/9 '04/9 '06/9 '08/9 '10/9 '12/9 '14/9 '16/9 '18/9 '20/9 '22/9 <円/米ドル> <円/豪ドル> <円/ユーロ> 110 180 155 150 145 140 135 120 115 110 105 100 95 85 85 170 100 160 150 90 140 80 130 70 120 110 60

期間: 2004年9月末~2024年3月末。REIT指数: S&P先進国REIT指数(配当込み・円換算)、2004年9月末を100として指数化。為替: 対顧客電信売買相場(仲値)、単位は円。出所: S&P、ブルームバーグのデータを基 に野村アセットマネジメントが作成。 ※S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービシーズ エル エル シーの所有する登録商標です。

'04/9 '06/9 '08/9 '10/9 '12/9 '14/9 '16/9 '18/9 '20/9 '22/9

#### 3月の投資環境

#### く世界リート市場>

国・地域別では、米国は、FOMC(米連邦公開市場委員会)において経済が好調さを持続するとの見方が示された一方、2024年の政策金利について3回の利下 げ見通しが維持されたことなどが好感され、月間で上昇しました。欧州は、ECB(欧州中央銀行)がインフレ率が一段と鈍化したとの認識を示し、政策金利を据え 置いたことなどから、月間で上昇しました。豪州は、2023年10-12月期の実質GDP(国内総生産)成長率が前四半期より鈍化し、中央銀行による利下げ観測が強 まったことが支援材料となり、月間で上昇しました。日本は、日銀が金融政策決定会合でマイナス金利政策の解除や、リートの新規買入終了などを決定しました が、低金利環境は当面続くとの見方が強まり、目先の悪材料が出尽くしたと市場に受け止められたことなどを背景に、月間で上昇しました。為替は、ドル・円レー トは、日銀が金融政策決定会合にてマイナス金利政策を解除した一方で緩和的な金融環境が継続するとの見通しを示したことなどを受け、月間でドル高・円安 となりました。ユーロ・円レートは、上旬、ECBによる6月の利下げが示唆されたことからユーロ安となり、その後はユーロ高になる局面もありましたが、月間でほ ぼ変わらずとなりました。(※円安は基準価額に対してプラスに、円高はマイナスに影響します。)

#### 3月の運用経過

#### (運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

100 90

(1)国•地域别配分

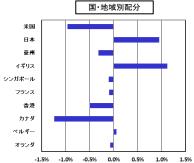
イギリスなどを増やした一方で、カナダなどを減らしました。

'04/9 '06/9 '08/9 '10/9 '12/9 '14/9 '16/9 '18/9 '20/9 '22/9

#### (2)セクター配分(物件のタイプ)

ホテルや倉庫セクターなどをオーバーウェイト(参考指数に比べ高めの投資比率)としています。ホテルセクターは、 ビジネス出張などの宿泊で利用される物件の需要が回復傾向であると考えています。倉庫セクターは、足元の業績 が市場予想を上回っている銘柄などに着目いたしました。

50



(グラフの「国・地域別配分の増減」は、純資産比率ベースで、前月末との比較をしたものです。価格の騰落などによっても国・地域別配分は変動します。)

### 今後の運用方針(2024年3月29日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

CBREインベストメントマネジメント社は、リートの足元のファンダメンタルズ(基礎的条件)は安定しており、2024年のリート各社の利益成長率は2-3%のプラス成 長となると予想しています。今後もリートは長期のリース契約や高い稼働率に支えられると考えています。加えて今後FRB(米連邦準備制度理事会)をはじめと する主要中央銀行による利下げが開始されれば、リート市場の下支えとなる可能性があります。

そのような投資環境の中で、リートのクオリティを重視した投資戦略を継続していきます。ファンダメンタルズが良好な地域において、実績のある経営陣、明確 な経営方針、健全な財務、優れた資金調達力、保有物件の競争力等の観点から、質の高い銘柄に焦点を当てて投資していきます。内部成長、外部成長の両面 からキャッシュフロー(現金収支)を成長させることができるリートを選別します。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が 保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかな る内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマ ネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込いただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投 資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

#### ◆設定·運用 野村アセットマネジメント

# グローバルREITオープン

販売用資料

2024年3月29日 (月次改訂)



マンスリーレポート

追加型投信/内外/不動産投信

#### ファンドの特色

- ●信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- ●世界各国のREIT (不動産投資信託証券)※1を実質的な主要投資対象※2とします。 ※1 世界の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託証券(一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。)とします。 なお、国によっては、「不動産投資信託証券」について、「REIT」という表記を用いていない場合もありますが、ファンドにおいては、こうした場合も含め、全て「REIT」といいます。 ※2「実質的な主要投資対象」とは、「グローバルREITオープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - \*ファンドが投資対象とするREITには、株式会社が発行する優先株に相当するREITも含みます
- ●REITへの投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性などの調査や割安分析などにより投資銘柄 を選別し、高水準の配当収益の獲得と中長期的な値上がり益の追求を目指して運用します。
- ●REITの実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- ●実質組入外貨建資産については、原則として為替へッジを行ないません。
- ●ファンドは「グローバルREITオープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- ●マザーファンドの運用にあたっては、シービーアールイー・インベストメントマネジメント・リステッドリアルアセッツ・エルエルシーに、運用の指図に関する 権限の一部を委託します。
- ●原則、毎月23日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として配当 等収益等を中心に安定分配することを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

### 投資リスク

ファンドは、主に世界各国のREIT(不動産投資信託証券)等を実質的な投資対象としますので、組入REIT の価格下落や、組入REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがありま す。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがっ て、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることが あります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※くわしくは、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

#### 【お申込メモ】

●信託期間 無期限(2005年2月21日設定)

●決算日および 年12回の毎決算時(原則、毎月23日。休業日の場合は 四益分配 翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。

●ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額

●ご購入単位 1万円以上1円単位

\*「投信自動積立」のご利用によるご購入の場合は、上記に かかわらず1万円以上1千円単位となります。 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を

●ご換金価額 差し引いた価額

\*原則、ご換金申込日から起算して5営業日目からご換金代金を

お支払いいたします。 野村アセットマネジメントが設定・運用する、三井住友銀行指定の

●スイッチング ファンド間において可能です。

■課税関係

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時 (スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税 されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象 ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。 なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる 場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。 ※くわしくは、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 ※上記は三井住友銀行による取り扱いであり、ご購入単位および ご購入時手数料等の詳細は販売会社によって異なります。

#### 【当ファンドに係る費用】

投資信託はご購入・ご換金時に直接ご負担いただく費用と信託財産から

回接的にこ貝担いたに負用の合計額がかかりより。			
◆ご購入時手数料	ご購入代金に応じて、下記の手数料率をご購入金額(ご購入価額(1口当		
	たり)×ご購入口数)に乗じて得た額を、ご購入時にご負担いただきます。		
	1,000万円未満3.30%(税抜3.00%)		
	1,000万円以上1億円未満・・・・・2.75%(税抜2.50%)		
	1億円以上・・・・・・・2.20%(税抜2.00%)		
	<スイッチング時>		
	ありません。		
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.485%(税抜年1.35%)の率を乗じて得た		
	額が、お客さまの保有期間に応じてかかります。		
	*ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格		
	形成されるため、その費用は表示しておりません。		
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の		
	保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、		
	ファンドに関する租税等がお客さまの保有期間中、その都度かかります。		
	※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限		
	額等を示すことができません。		
◆信託財産留保額	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額		
(『協会は、フィッエンガま会よい)			

【【こ換金時・ハイツナンソを含む 】 上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、

表示することができません。 ※〈わしくは、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

**〈毎月分配型投資信託の留意点〉**○投資信託の初意点
○投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
○分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

〇受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部 ないしすべてが、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。

#### くお申込に際してのご留意事項〉

- ●投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧くださ い。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- ●投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ●投資信託は預金ではありません。
- ●投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- ●三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ●三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行ないます。
- ●本資料は野村アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。 ・社、基準価額等については、下記の無去元までお同じ 野村アセットマネジメント株式会社 ★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間>営業日の午前9時~午後5時 ★インターネットホームページ★ http://www.nomura-am.co.jp/ <委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]

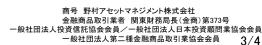
野村信託銀行株式会社 <受託会社>

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が 保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかな る内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマ ネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込いただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投 資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込

◆設定·運用 野村アセットマネジメント





株式会社三井住友銀行 登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号 加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# グローバルREITオープン

販売用資料 2024年3月29日 (月次改訂)



マンスリーレポート

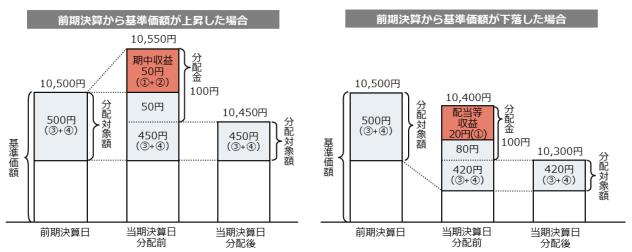
追加型投信/内外/不動産投信

#### 分配金に関する留意点

● <u>分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から</u> 支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が 減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



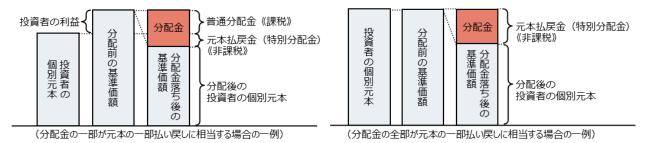
- ●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。
  - ・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準 価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
  - ※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。 分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

労配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。) 元本払戻金 (特別分配金) 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の 投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額に ついて示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込いただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込

◆設定・運用 野村アセットマネジメント